

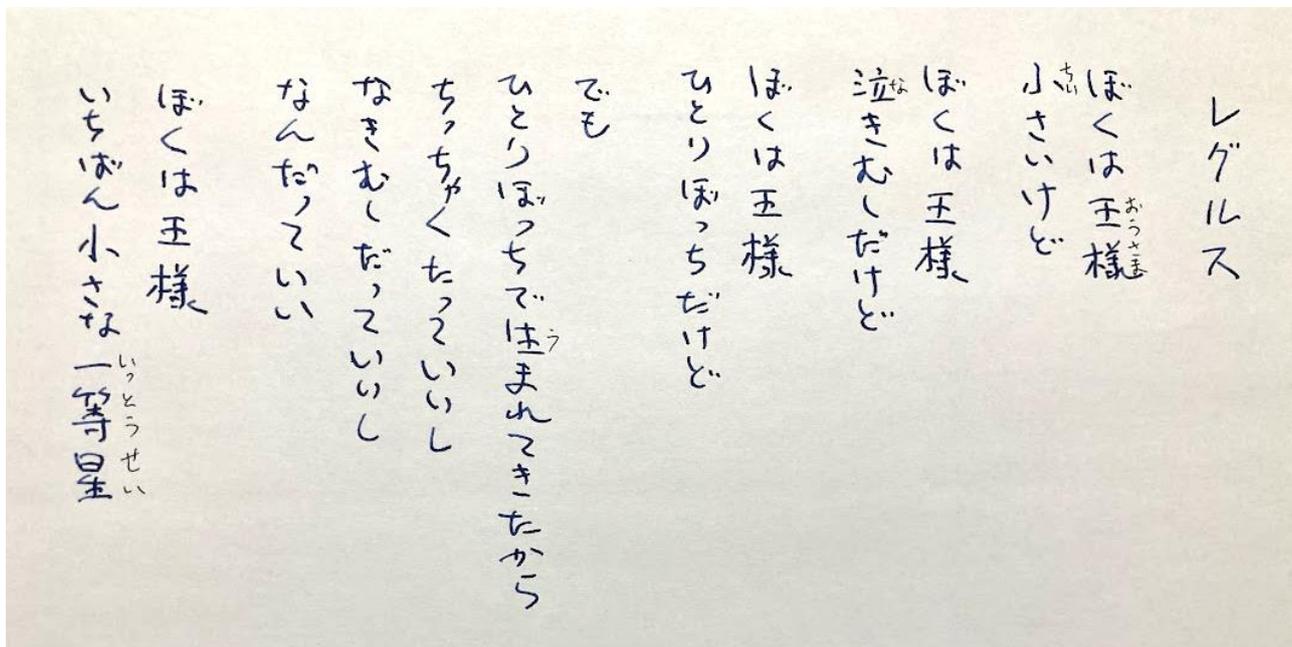


どんなお父さん

2024/9/26

No.31

岩渕和信



「お父さんのカニはどんなお父さん？」

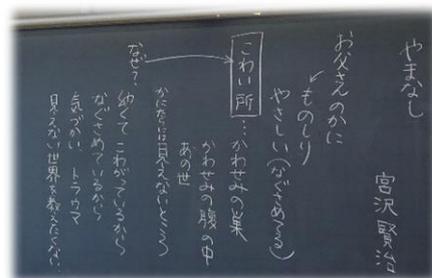
「ものしり」「どうして?」「117ページの最後の方に、魚のしてる
ことがわかったり、鳥の目の色がわかったり、鳥の名前とか知ってるから、
ものしりじゃないかって」「同じ!」「同じ」みんな受けとります。



「あ、同じ。何人もいる」先生は黒板に「ものしり」と書いて受けとっ
た言葉を残しました。「他には?」

「やさしい」「やさしい! どっから?」「118ページの4行目で、子ども
たちがこわがってるのを、ここでなぐさめてる」「あー、
なぐさめてる」先生は黒板に「やさしい (なぐさめてる)」
と書いて受けとりました。

こうしてみんなで、宮沢賢治の表現を一つ一つ受けとっ
ていきます。



本を読めることは幸せだ。それだけでいい。けれども少しの元気があれば、その幸せ
を人と共有してみるといい。

本当に楽しいことは外にある。学びは決してひとりではできない。(逆巻しとね)